

経済・金融 フラッシュ

米11月ISM指数は、非製造業が48.7と3ヵ月ぶりに50を下回る

経済調査部門 主任研究員 土肥原 晋

TEL:03-3512-1835 E-mail: doihara@nli-research.co.jp

1、製造業・非製造業とも低下する中、製造業指数(53.6)は4ヵ月連続で50を上回る

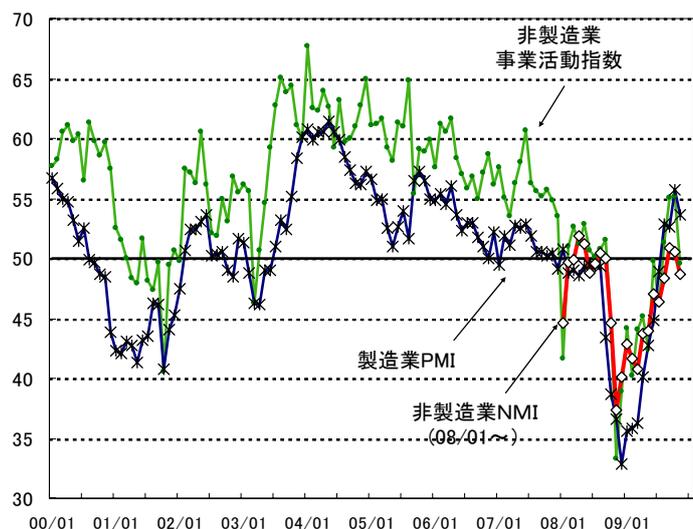
企業のセンチメントを示すISM(米供給管理協会)指数は、11月製造業指数(PMI)が53.6となった。市場予想値(55.0)には届かず、2006年4月(56.0)以来約3年半ぶりの高水準となった10月水準(55.7)を▲2.1%ポイント下回った。同指数は、昨年12月に32.9と1980年6月(30.3)以来28年ぶりの低水準を記録したが、その後、8月には製造業の拡大・縮小の分かれ目となる50台を回復、50越えは4ヵ月連続となった。発表元のISMでは、過去のデータから見たPMIが示す経済全体の分かれ目(GDPのゼロ成長)は41.2であり、11月PMIは実質GDP年率3.9%に該当するとしている。

一方、11月の非製造業指数(NMI:注)は48.7と前月(50.6)から低下、市場予想(51.5)を下回り、3ヵ月ぶりに非製造業の業況の分かれ目となる50を下回った。NMIは昨年9月金融危機後に37.4(11月)まで急低下、その後持ち直し、本年9月には50.9と昨年5月(51.2)以来の水準を回復、10月も50.6とほぼ横ばいに推移したが、再び50台を割り込んだ。

ISM両指数の推移を比較すると、昨年9月金融危機以降の落ち込みは製造業の方が大きかったものの、本年7月以降は、5ヵ月連続で製造業指数が上回るなど、製造業の改善が先行した形となっている。特に、それぞれの主要な構成指数である雇用指数では、製造業が50台を回復する中、非製造業では41.6に留まるなど非製造業の立ち直りの遅れを示している。また、こうした非製造業指数回復の遅行は、個人消費の停滞や住宅バブル崩壊、金融危機等の影響が、サービス業や不動産・建設等を含む非製造業に、依然、重石となっていることを窺わせる。

(注:NMI(=Non-Manufacturing Index)は、2008年1月より非製造業指数の総合指数として発表開始。事業活動、新規受注、雇用、入荷遅延の各指数の均等ウェイトで構成される。)

(図表1) ISM指数の推移(月別)



(資料) Institute for Supply Management、以下も同じ。

(指数別の動向)

2、製造業各指数では、在庫・価格指数の低下が顕著

PMI を構成する主要 5 指数（新規受注、生産、雇用、入荷遅延、在庫）では、新規受注指数が 1.8 ポイント（58.5→60.3）と上昇したのを除くと、いずれも低下した。低下幅が最も大きかったのは在庫指数で、前月から▲5.6 ポイント（46.9→41.3）の低下、以下、生産指数が▲3.4 ポイント（63.3→59.9）、雇用指数が▲2.3 ポイント（53.1→50.8）、入荷遅延指数は▲1.2 ポイント（56.9→55.7）の低下となった。

在庫指数の低下が大きく、また、新規受注が上昇していることから、今後の生産の回復を想起させるものとなっており、PMI の低下ほどは、先行きを懸念させるものとなっていない。

また、雇用指数の低下は懸念材料であるものの、先月の急伸（6.9 ポイントの急伸で 2006 年 4 月（54.9）以来、2 年ぶりの高水準となる 53.1 に回復）の反動もあったこと、2 ヶ月連続で、雇用統計における製造業雇用者増減の分かれ目（49.7）を上回ったこと、等を考慮すると、改善傾向の持続が窺われるものと言えよう。

上記以外の指数では、価格指数が▲10.0 ポイントの大幅な下落で 55.0 となった。同指数は原油価格が最近のボトムをつけた昨年 12 月に 18.0 と落ち込んだ後、ほぼ一貫して上昇、本年 8 月に 65.0 をつけた後、一進一退の動きにあった。ただし、今回の急落後も、製造業価格指数の上下の分かれ目である 47.6 を大きく上回っており、11 月は 8 業種が購入価格の上昇を回答する中、低下は 1 業種に留まるなど全般的な仕入れ価格上昇傾向は持続している。なお、前月と同様、製造業各指数のうち 50 を下回ったのは、在庫（41.3）、顧客在庫（37.0）の 2 指数に留まった。

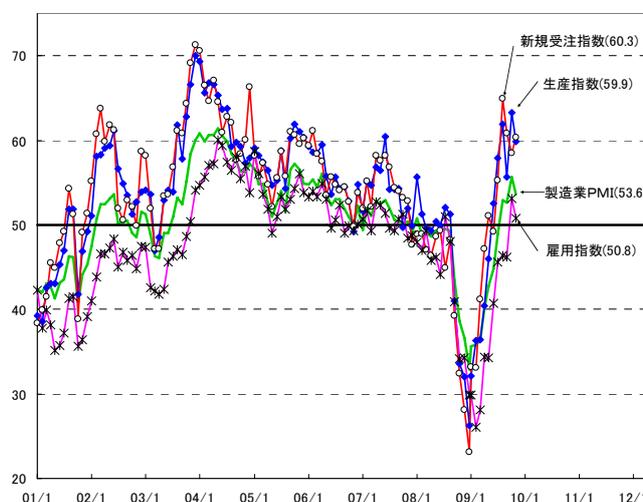
3、非製造業各指数では、事業活動指数の下げ幅が最大

11 月非製造業の各指数の動きを見ると、総合指数（NMI）を構成する主要 4 指数（事業活動、新規受注、雇用、入荷遅延）では、雇用指数を除き下落した。特に事業活動指数は▲5.6 ポイント（55.2→49.6）と全指数の中でも最大の低下幅となり、4 ヶ月ぶりに 50 を割り込んだ。事業活動指数について業種別に見ると、活発化した業種が 7 業種（専門・科学技術、ヘルスケア、小売業、情報、金融・保険、建設業等）、低下した業種が 10 業種（鉱業、不動産・リース、飲食店等、リクレーション、公益、卸売り、管理・派遣業、運輸・倉庫、教育、等）だった。

また、新規受注指数は 55.1（前月 55.6）と小幅の低下に留まったため、主要指数中では最も高水準を維持しているが、一方、雇用指数は 41.6（前月 41.1）と主要 4 指数中唯一上昇したものの、上昇幅は小さく、全指数の中で最低水準に留まった。

その他の指数では、受注残高指数の下落（前月比▲5.0%ポイント）が大きく、半面、価格指

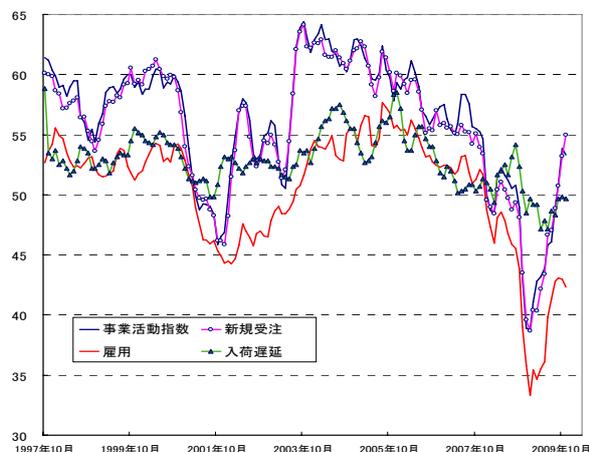
(図表2) ISM製造業主要指数の推移 (月別)



注：() 内の数値は 2009 年 11 月値

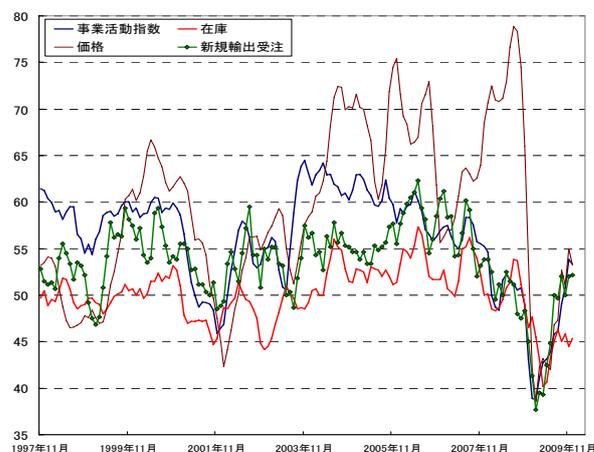
数（同+4.8）、在庫指数（同+2.5）、輸出受注（同+1.0）、等では上昇を見せている。

(図表3) I S M非製造業各指数の推移(その1)



注：3ヵ月移動平均

(図表4) I S M非製造業各指数の推移(その2)



注：3ヵ月移動平均

(図表5) I S M指数：製造業と非製造業各指数の一覧

製造業指数																		
	08年7月	8月	9月	10月	11月	12月	09年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	10→11月 変化幅
P M I	49.5	49.3	43.4	38.7	36.6	32.9	35.6	35.8	36.3	40.1	42.8	44.8	48.9	52.9	52.6	55.7	53.6	▲ 2.1
新規受注	44.9	48.2	39.2	32.4	28.1	23.1	33.2	33.1	41.2	47.2	51.1	49.2	55.3	64.9	60.8	58.5	60.3	▲ 1.8
生産	52.0	51.3	41.0	33.6	32.0	26.3	32.1	36.3	36.4	40.4	46.0	52.5	57.9	61.9	55.7	63.3	59.9	▲ 3.4
雇用	51.0	48.0	40.9	34.2	34.3	29.9	29.9	26.1	28.1	34.4	34.3	40.7	45.6	46.4	46.2	53.1	50.8	▲ 2.3
入荷遅延	54.1	50.5	51.8	49.3	48.6	45.7	45.3	46.7	43.6	44.9	49.8	50.6	52.0	57.1	58.0	56.9	55.7	▲ 1.2
在庫	45.4	48.4	44.0	44.0	40.1	39.6	37.5	37.0	32.2	33.6	32.9	30.8	33.5	34.4	42.5	46.9	41.3	▲ 5.6
顧客在庫	47.0	54.5	53.5	55.0	55.0	57.0	55.5	51.0	54.0	49.5	46.0	43.5	42.5	39.0	39.0	38.5	37.0	▲ 1.5
価格	88.5	77.0	53.5	37.0	25.5	18.0	29.0	29.0	31.0	32.0	43.5	50.0	55.0	65.0	63.5	65.0	55.0	▲ 10.0
受注残高	43.0	43.5	35.0	29.5	27.0	23.0	29.5	31.0	35.5	40.5	48.0	47.5	50.0	52.5	53.5	53.5	52.0	▲ 1.5
新規輸出受注	54.0	57.0	52.0	41.0	41.0	35.5	37.5	37.5	39.0	44.0	48.0	49.5	50.5	55.5	55.0	55.5	56.0	0.5
輸入	46.5	48.5	44.0	41.0	37.5	39.0	36.5	32.0	33.0	42.0	42.5	46.0	50.0	49.5	52.0	51.0	51.5	0.5
非製造業指数																		
N M I	49.6	50.4	50.0	44.6	37.4	40.1	42.9	41.6	40.8	43.7	44.0	47.0	46.4	48.4	50.9	50.6	48.7	▲ 1.9
事業活動	50.1	50.8	51.5	44.5	33.3	38.9	44.2	40.2	44.1	45.2	42.4	49.8	46.1	51.3	55.1	55.2	49.6	▲ 5.6
新規受注	48.0	49.5	50.6	44.3	35.6	38.9	41.6	40.7	38.8	47.0	44.4	48.6	48.1	49.9	54.2	55.6	55.1	▲ 0.5
雇用	46.8	45.6	44.2	41.7	31.1	34.5	34.4	37.3	32.3	37.0	39.0	43.4	41.5	43.5	44.3	41.1	41.6	0.5
入荷遅延	53.5	55.5	53.5	48.0	49.5	48.0	51.5	48.0	48.0	45.5	50.0	46.0	50.0	49.0	50.0	50.5	48.5	▲ 2.0
在庫	54.5	53.5	45.5	48.0	46.0	49.0	41.5	39.0	40.0	43.0	47.0	45.0	47.0	43.0	47.5	43.0	45.5	2.5
価格	78.8	74.1	70.6	53.3	37.0	36.1	42.5	48.1	39.1	40.0	46.9	53.7	41.3	63.1	48.8	53.0	57.8	4.8
受注残高	52.0	49.0	46.5	44.0	39.5	42.5	37.5	36.5	41.0	44.0	40.0	46.0	42.0	41.0	51.5	53.5	48.5	▲ 5.0
新規輸出受注	47.5	44.5	50.5	50.0	34.5	39.5	39.0	40.0	39.0	48.5	47.0	54.5	47.5	54.0	48.5	53.5	54.5	1.0
輸入	49.0	46.0	47.5	52.0	40.0	32.5	40.5	39.0	37.0	48.5	46.0	47.0	45.0	49.0	51.5	46.0	46.0	0.0
在庫センチメント	62.5	66.0	62.5	67.5	65.0	65.5	62.5	66.5	60.0	62.5	62.5	67.0	62.5	67.5	62.0	63.5	61.5	▲ 2.0

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。